

## 研究タイトル：あいまいな情報を 計算機で扱う手法の実現



氏名：鈴木 未央/SUZUKI Mio E-mail：mio@kushiro-ct.ac.jp

職名：講師 学位：博士(工学)

所属学会・協会：日本知能情報ファジィ学会, IEEE

キーワード：ソフトコンピューティング, 対話型進化計算, 多変量解析, 感性情報処理

技術相談  
提供可能技術：  
・ユーザの好みや振る舞いの傾向の分析  
・上記を利用した検索システムや推薦システムの構築

### 研究内容：

人間が扱うあいまいな情報、数値で表しにくい情報をコンピュータで取り扱う手法を研究しています。あいまいな情報というのは、何かに対して感じる印象、説明できないような感覚、私たちが普段使っている言葉、人の好みなどを言います。

例えば、AさんとBさんが同じ曲を聞いて「楽しい」と感じたとき、Aさんが「楽しい」と感じたポイントと、Bさんが「楽しい」と感じたポイントは同じとは限りません。これは、曲に対して「楽しい」と感じるポイントが人によって異なっていると言えます。また、身長が178cmあり、日本では「背が高い」と言われていたCさんが、アメリカでは「背が低い」と言われた、というように、状況によって感じ方が異なることもあります。

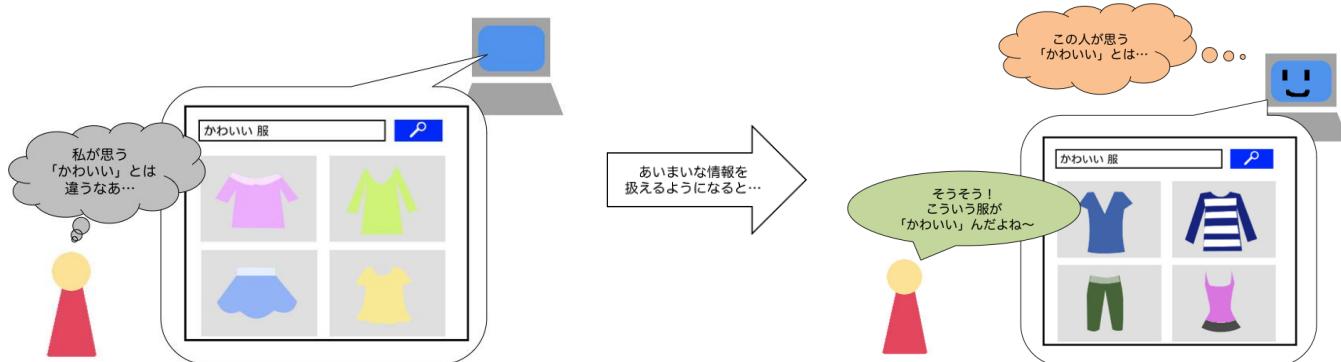
このように、私たち人間は、普段からあいまいな情報を取り扱っています。

コンピュータであいまいな情報を取り扱えるようにすることで、

- ・言葉や好みなど、ユーザによって変化する入力に合わせた出力ができる
- ・コンピュータを使った学習の際に、よりわかりやすく学ぶことができる
- ・人同士のコミュニケーションの手助けができる

これが期待できます。この研究では、あいまいな情報を扱うために、以下の技術を利用します。

- ・ソフトコンピューティング(ファジイ理論、ニューラルネットワーク、遺伝的アルゴリズム)
- ・多変量解析



### 提供可能な設備・機器：

#### 名称・型番(メーカー)

名称・型番(メーカー)